

2022 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名 倉富 史枝	職名 特別契約Ⅲ種教授	学位 修士(文学)(久留米大学 1995年)
----------	-------------	------------------------

研究分野	研究内容のキーワード
家族社会学 ジェンダー論	近代家族、ジェンダー平等、ドメスティックバイオレンス、セクシュアルハラスメント

研究課題
ジェンダー論に関して社会構造の問題として、力と支配を中心に家庭内や職場という身近な場で起こる暴力問題を考察する。ジェンダー平等を目指した国際的な動向と国内の動向を比較し、なぜ、日本がジェンダギャップが大きいのかを近代化に伴う社会意識の形成と関連づけて考察する。

担当授業科目
共生社会とジェンダー(前期)(保育科2年、保健福祉学部及び人文学部の全学科3年次以上) キャリア開発(後期)(保健福祉学部及び人文学部の全学科1年次) 女性史(後期)(保健福祉学部及び人文学部の全学科2年次以上)

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【共生社会とジェンダー】</p> <p>社会や学問に存在する性差に関わる既成概念や諸問題について、男女共同参画社会やハラスメントや性暴力の根絶などの具体的なテーマで性別にとらわれない共生社会のあり方を実感をもって考えられるよう、グループ討論やその結果を新聞で表現するなどアクティブラーニングを実施した。また、国籍、人種、障害の有無などに関わらず多様な人々との共生をジェンダーの視点から総合的に捉え、女性が自立的に社会参画に関する問題を理解し、課題解決の方策を考えるよう働きかけた。</p>
<p>授業科目名【キャリア開発】</p> <p>外部講師から多様な分野を視野にいれたキャリア支援ができるよう講話した。</p> <p>双方向の授業として、学生から質問を受け回答するようにし、人数が多いため講師が複数の場合には、教室後部の学生にもマイクをまわした。キャリア形成は個人的課題だが、その背景の社会の構造と結びつけられるよう最後の講義では授業の振り返りに時間を使った。</p>
<p>授業科目名【女性史】</p> <p>ジェンダーの視点で歴史を見直すために、固定観念を覆すような写真や図表を使用した。このような視覚的資料は印刷して配布し、歴史的な流れを説明する際には板書を多用し、ノートをとることで理解を深めるようにした。</p>

授業科目名【 】

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
西日本社会学会会員 日本社会分析学会会員		1993年 9月～現在に至る 1993年 10月～現在に至る

2022年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(1) 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者 () 内は学外者	交付決定額 (単位:円)

--	--	--	--

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
こどもCAPふくおか 苅田町	代表 男女共同参画推進委員	1998年6月～現在に至る 2001年4月～現在に至る
NPO法人福岡ジェンダー研究所	理事	2002年3月～現在に至る
福岡家庭裁判所	参与員	2004年4月～現在に至る
春日市男女共同参画審議会	会長	2011年5月～現在に至る
福岡県同和問題をはじめとする人権問題に係る啓発・研修講師団	講師	2014年4月～現在に至る
古賀市男女共同参画審議会	会長	2015年4月～現在に至る
大川市男女共同参画推進審議会	会長	2018年4月～現在に至る
福岡県人権施策推進懇話会	委員	2017年4月～現在に至る
福岡県エイズ・性感染症対策推進協議会	委員	2018年4月～現在に至る

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

--